

# こども・子育て マニフェスト



# 2021

しゅういん せん  
衆院選にのぞむ公明党のお約束



公明党衆議院2021特設サイトから「こども・子育てマニフェスト」のリンクをたどってください。

<https://www.komei.or.jp/special/shuin49/kodomo-manifest/>



## こどもマニフェスト もくじ

こうめいとう  
公明党って  
どういう政党？

きょういく がっこう せいかつ  
教育・学校生活

しゅつさん こそだ しえん  
出産・子育て支援、  
あんしん いりょう  
安心の医療

ちいき しゃかい  
地域、社会の  
あんぜん あんしん  
安全・安心

ゆた けいざい  
くらしを豊かに、  
経済を元気に

せかい へいわ  
世界の平和、  
にほん みらい  
日本の未来



# こども・子育て マニフェスト 2021

10月31日(日)、衆議院選挙が行われます。

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、日本はこれまで経験したことのない危機に直面しています。国民の命と生活がおびやかされ、お子さんのいるご家庭の生活にも大きな影響が出ています。こうした中で、貧困や格差、孤独・孤立、少子高齢化、デジタル化の遅れなど、日本社会がもともと抱えていた課題が、あらためて浮き彫りとなりました。

公明党は、病院などの医療を守り、仕事や生活を支援するなど、国民の命と生活を守る取り組みに全力をあげます。そして、だれもが安心して子どもを産み育て、十分な教育を受けられるように、子育てや教育への支援を、国の政策の「柱」にして、さらに充実させていきます。

私たち公明党は、これまでも、そしてこれからも、みなさん一人一人の「小さな声」を聴き、暮らしを守り、希望ある日本の未来を築いていきたいと考えています。

新しい時代を担うみなさんと一緒に世の中のこと、政治のことを学んでいきたい、公明党がみなさんにお約束することをお伝えしたいとの思いで、この「こども・子育てマニフェスト2021」をつくりました。是非、ご家族のみなさん、多くの人と一緒に語り合いながら、読んでいただけたら幸いです。



こう めい とう

# 公明党って、どういう政党？

せい とう

こうめいとう 公明党は2021年に結党（政党をつくること）57年をむかえます。國やねん けっとう せいとう

みんぞく ちが せいじ たい かんが かた ちが たいりつ の にんげん  
民族の違い、政治に対する考え方の違いによる対立を乗りこえて、“人間

しあわ い もくとき た かえ じつげん  
が幸せに生きていくこと”という目的に立ち返り、それを実現するために

かつどう ぜんこく やく にん こっかいぎいん ちほうぎいん かくち  
活動しています。全国にいる約3,000人の国会議員と地方議員が、各地

せいかつ ひと ちい こえ う と こえ くに せいじ  
で生活する人たちの小さな声をしっかりと受け止め、その声を国の政治

とど せいさく じつげん ちから も  
にまで届け、そして、政策を実現するというネットワークの力を持って

せいとう けんぽう だいじ かんが かた けんぽう さんげんり こくみん  
いる政党です。また、憲法の大変な3つの考え方＝憲法の三原理（国民

しゅけん きほんてきじんけん そんちょう へいわしゅぎ そんちょう まも かんが  
主権、基本的人権の尊重、平和主義）を尊重し、守っていこうと考えて

います。



きょう いく がつ こう せい かつ

# 教育・学校生活

みなさん、豊かな心を育み、自分の将来に夢をもって進み、その夢をかなえるために必要な「教育」をしっかりと安心して受けられるように公明党は応援します。

- これまで小学校の1年生のみ35人学級でしたが、2025年度までに2年生～6年生も40人から35人学級にしていきます。さらに、中学校でも35人学級をめざし、将来的には小中ともに30人の少人数学級をめざします。

- 公立の小中学校で1人1台タブレットなどが配布されております。そうしたICT（インターネットを使った技術）も活用して、一人ひとりの学力などに応じた教育を進めていきます。

- 公明党は、みんなが使っている小中学校の紙の教科書を無料にしました。引き続き、紙の教科書などを使いつつ、デジタルの教科書も無料で使えるよう取り組みます。



● いじめ、不登校、自殺などで悩んだときに、LINEなどのSNSで相談できる窓口を充実します。また、学校で悩みごとを聞いてくれる「スクールカウンセラー」や、悩んでいる内容に応じて家庭・学校などと連絡を取りあいながらサポートする「スクールソーシャルワーカー」を増やします。

● いじめや病気などの事情を抱えて登校できない場合でも、希望すれば学べるよう、オンライン教育やフリースクール、夜間中学などで学習できるようにします。

● 障がいがあっても一人ひとりに応じた学習ができるよう、先生や教室を増やしたり、学校のバリアフリー化を進めて、学びやすい環境をつくります。

● 安心してインターネットやSNSなどを使えるようにするため、マナーラール、正しい情報の見分け方などを学ぶ機会を増やします。

● 地震に強い学校をつくるため、古くなった建物の修理などを進めます。また、和式トイレや古くなったトイレの改修、体育館などのエアコン設置を進めて、快適に学べる環境をつくります。

● 事故・事件・災害などから、身の安全を守るため、安心して学校で学べる環境をつくります。

- 無事故で通学路を登下校できるよう、歩道を広げたり、ガードレールを設置するなど、安全対策を強化します。

- 放課後でも学校や児童館などで安心して過ごせるよう、「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ」などを充実します。

- 新型コロナの影響を受けている留学については、世界的な感染の状況も見ながら、留学を後押しするための支援をします。

- 研究者をめざしているみなさんが、将来、安心して研究に打ち込めるよう、若手研究者への支援を充実します。

- 豊かな心を育むため、文化芸術や自然体験活動、読書などに親しむ機会を増やします。

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、日本人選手がたくさんメダルを獲得するなど、活躍が光りました。これからも世界で活躍できるトップアスリートが生まれるよう支援します。

- 2019年10月からすべての3~5歳児を対象に「幼児教育の無償化」が実現しました。引き続き、保育園に入れない待機児童の対策などを進めつつ、経済的に大変なご家庭に限って無償化している、0~2歳児の保育料をすべて無償となるよう対象をだんだん広げます。

● 小中学校で必要な文房具などの学用品費や修学旅行費などの負担を減らすため、経済的に大変なご家庭に支給している「就学援助」の支給額を増やすとともに、年収590万円未満のご家庭まで対象をだんだん広げます。

● 2020年4月から年収590万円未満のご家庭を対象に「私立高校授業料の実質無償化」が実現しました。さらに授業料の負担を減らすため、公立と同じ年収910万円未満のご家庭まで無償となるよう対象をだんだん広げます。

● 高校の授業料以外にかかる教育費の負担を減らすため、経済的に大変なご家庭に支給している「奨学給付金」の支給額を増やすとともに、年収590万円未満のご家庭まで対象をだんだん広げます。

● 2020年4月から経済的に大変なご家庭を対象に、返済しなくてもよい給付型奨学金と授業料・入学金の負担を減らす支援を充実させた「大学などの無償化」が実現しました。引き続き、経済的な理由で進学をあきらめることのないよう、年収590万円未満のご家庭まで対象をだんだん広げます。



しゅっさん こそだ し えん  
**出産・子育て支援、**  
あん しん い りょう  
**安心の医療**

あんしん こ う そだ せ い ど じゅうじつ おうえん  
安心して子どもを産み育てられるように、いろいろな制度を充実して応援して  
いきます。また、すべての子どもたちが健やかに成長していけるよう、医療  
じゅうじつ い りょう  
をより充実していきます。

- 新型コロナによる影響が続き、特にお子さんのいるご家庭が大きな影響を受けているため、「未来応援給付」として、0歳から高校3年生(高校等に就学していない方も含め高校3年生に相当する年齢)まで全ての子どもたちに1人10万円相当の支援を行います。

- 
- だれもが安心して子どもを産み育てられる社会、十分な教育を受けられる社会をめざして、公明党は新たに「子育て応援トータルプラン」をつくり、結婚、妊娠・出産、幼児教育・保育から大学までの支援を充実させます。

- 
- 子どもの権利を守るための法律として「子ども基本法」をつくります。また、子どもに関する政策を調査し、子どもの声を聞いて改善を進める「子どもコミッショナー」をつくります。あわせて、各地域で子どもからの苦情を聞いて、子どもを救い助ける人(オンブズマン)を増やします。

- 子どもの年齢や担当する役所によって政策や支援がなくならないよう  
に、「子ども家庭庁」をつくり、子どもと家庭を支えていきます。

● 赤ちゃんを産む時には病院でたくさんのお金がかかります。お産や子育てを応援するために支払われる「出産育児一時金」を42万円から50万円ふに増やします。

● 赤ちゃんができてから、そして生まれた後も、お母さんが体の悩みや子育ての不安などを相談でき、支援してくれる場所を全国につくり、安心して子育てできる環境を整えます。

● 赤ちゃんを産んだ後に精神的に不安定な状態になる「産後うつ」を防ぐために、「産後ケア」を全国各地で受けられるようにします。また、家事・育児への支援を充実します。

● 子育て中のお母さんが働きやすくなるよう、短時間のお仕事やテレワーク（情報や通信に関する技術を活用した時間と場所にしばられない柔軟な働き方）などを広げていきます。

● お父さんお母さんが共働きなどで保育を必要とするような場合に、すべての子どもが保育所や保育サービスを使えるように、保育所を増やしたり、延長保育や休日保育、病児保育などいろいろな保育サービスを広げていきます。

● 子どもへの暴力などをなくすために、家庭で体罰など、子どもの体に痛みを与えるようなことを法律で禁止しました。さらに、子どもや家庭を助けるための「児童相談所」や市役所、町や村の役場に、専門で対応する人を増やし、子育てなどのアドバイスをします。

● 新型コロナのワクチンは、3回目も無料で接種できるようにします。また、国産のワクチンや治療薬の開発をサポートして、できるだけ早く使えるようにします。

● 必要な医療を受けられない「医療崩壊」を防ぐため、病院などの体制を整えます。また、新型コロナの重症化の予防に大きな効果がある「抗体カクテル療法」を受けられる場所を増やします。

● どの地域に住んでいても安心して子どもが医療を受けられるように、高校3年生まで無料にすることをめざして、子どもの医療費の負担を軽くしています。



● アトピーや、国民病ともいわれる花粉症で、つらい思いをしている人がたくさんいます。公明党は、こういったアレルギーの病気に対する対策を進める法律をつくりました。少しでもつらい人が少なくなるようにしていきます。

● 歯がきちんととかみ合うようにする矯正歯科治療について、医療保険の対象を増やすことをめざします。

● 治すことが難しかったり、めずらしい病気だったりといった難病のための医療費を援助する仕組みがあります。病気の対象を広げ、よりききめのある治療法の研究や開発も進めています。

● 日本人の2人に1人が“がん”になり、3人に1人が、“がん”で亡くなっています。治療法の研究開発を応援したり、がんについてしっかりと理解できるよう、がん教育を進めます。



ち　いき　しや　かい　あん　せん　あん　しん

## 地域、社会の安全・安心

じしん　おおあめ　おお　さいがい　み　まも　いえ　がっこう　どうろ　はし　さいがい  
地震や大雨などの大きな災害から身を守り、家や学校、道路、橋などを災害に  
負けない強いものにしていきます。被害を防いだり、減らすための取り組みと  
ともに、災害のあった地域を元通りに直すなどの「復興」に全力で取り組みま  
す。また、子どもからお年寄り、障がいのある人にもやさしい社会、だれもが  
あんしん　しゃかい　あんぜんたいさく　ぜんりょく　と　く  
安心してくらせる社会にするため、安全対策に全力で取り組みます。

- 地震や台風、豪雨などの被害を受けた人たちが安心してくらせるよう、  
しっかりと寄り添いながら、心のケアや健康、生活の手助けをしていきま  
す。

- 
- さまざまな自然災害に備えて、地震に強い建物や橋などをつくる、川の  
堤防を強くする、鉄道や空港、港などの建物を強くするなどの取り組みを  
進めます。また、電気やガス、水道、電車や車などの交通、生活やくらし  
が止まってしまわないように、いざという時の準備を進めます。



● エネルギーをムダなく使う「省エネルギー」や、太陽の光や風などの自然の力を使う「再生可能エネルギー」など、原子力に代わる新しいエネルギーをつくって、できるだけ早く原子力発電（原子力を使って電気をつくる）を使わなくていい社会をつくっていきます。また、原子力発電を使うあいだは、絶対に事故が起きないようにきびしく安全の管理をしていきます。

● 家庭や学校、地域で、自分で身を守ることやみんなで助け合うことなど、防災について学んだり、訓練などを行い、協力し合えるようにします。

● 災害が起こった時、子どもや障がい者・女の人がつらい思いやがまんをすることがないように、エアコンやきれいで使いやすいトイレ、授乳室などを用意し、安全で過ごしやすい避難所をつくります。また、生活で必要ないろいろなもの、アレルギーが起こらない食べもの、赤ちゃん用の液体ミルクなどを避難所などにきちんと用意します。

● アイシーティー、ジーピーエス（使う人の場所がわかる技術）などを使って、離れていても子どものいる場所がわかったり、災害から身を守るための防災情報を流したりするなどして、安全で安心なくらしができる社会をつくっていきます。

● 災害が起こった時に、スマートフォンでいろいろな情報が、サイトやアプリなどで、わかりやすく使えるように整えていきます。

● 子どもやお年寄りが熱中症にならないよう、また、亡くなる人を減らしていくけるように、熱中症の危険性が高い日をスマートフォンなどで知らせてくれる「熱中症警戒アラート」などの取り組みを進めます。

● 運転免許を返したお年寄りが、お出かけする時に困らないようにするため、バスやタクシー、電車などに安い料金で乗ることができるように割り引きやチケットのサービスなどの取り組みを進めます。

● 安全で、気持ちよく自転車を使えるようにするために、自転車の通る場所や自転車おき場を整えます。また、自転車の保険に入ってもらったり、小学校や中学校の子どもたちに、交通安全について学ぶ場をたくさんつくります。



# くらしを豊かに、 経済を元気に

新型コロナを乗り越え、日本の経済を立て直し、みなさんのくらしを豊かにするための政策の実現をめざします。

- 新型コロナの影響で飲食店やホテルといった観光業界をはじめ多くのお店や会社が厳しい状況に追い込まれています。会社が倒産したり、働く人が失業させたりしないようにするための対策や、生活を援助する対策をつづけていきます。

- 新型コロナの感染者が増えても外出や営業の自粛をしなくとも済むように、感染が拡大した場合でも適切な治療が受けられる医療体制を整えます。また、感染を予防するためのワクチン接種や、効果的な治療薬の開発を急ぎます。

- 経済を活性化するために、ワクチン接種や質の高い検査などの証明を活用して、安心して食事や旅行、イベントに参加できるようにしていきます。感染が落ち着いてきたら、観光費用を割り引きするキャンペーンを実施して、観光産業の復興に取り組みます。

● 面倒な役所の手続きを、自宅のパソコンやスマートフォンで簡単にできるようにしていきます。そのために必要な「マイナンバーカード」を多くの人に取得してもらうと同時に、経済を活発にするため、カードを持っている人やこれから取得する人に、一人当たり3万円分の買い物に使える「マイナポイント」をもらえるようにします。

● AI（人のように頭脳を使って問題を解決する技術）や、IoT（機械、道具などのあらゆるモノをインターネットでつなぎ、新たなサービスや製品を生み出す技術）、人と同じように働くことができる機械やロボットなどのデジタル技術を使って、仕事の負担を少なくしたり、自動運転車による交通サービスやドローン（無人航空機）による配達など、便利で豊かな生活ができるようにしていきます。

● 地球環境にやさしい社会（グリーン社会）をめざし、石油や石炭といった温暖化ガスを発生するエネルギーを減らして、太陽光や風力といった自然エネルギー（再生可能エネルギー）を使うようにしたり、エネルギーの節約（省エネ）に取り組んでいきます。そして、2050年までに温室効果ガスの排出量と吸収量でプラスマイナスゼロにする「カーボンニュートラル」の実現をめざします。

● 地球環境にやさしい自動車や住宅、家庭用の太陽光パネルや蓄電池を広めるため、こうしたものを購入する方を支援していきます。

● 日本では一年間に約600万トン（毎日大型トラック1,640台分）の食品が、まだ食べられるのに捨てられています。この「食品ロス」を減らすため、賞味期限が近い食品を安く買えるようにする取り組みなどを進めます。また、こども食堂などでも活用し「もったいない」と「おそそわけ」の心が広がるような取り組みにも力をいれていきます。

● 新型コロナで仕事を失った人々がいる一方で、デジタルや介護・障がい福祉など人手が不足している職業もあります。無料で職業訓練を受けてもらい、新しい職場で働くまで支援していきます。また、働きながら学び直し（リカレント教育）ができる環境を広げていきます。

● お給料が増えて、みんながもっと買い物をするようになれば、ものを売っているお店やつくっている会社が豊かになり、そこで働く人のお給料も増えて、日本の経済は良くなっています。そのような経済の成長が続くように、一家庭あたりのお給料が増えるようにしていきます。

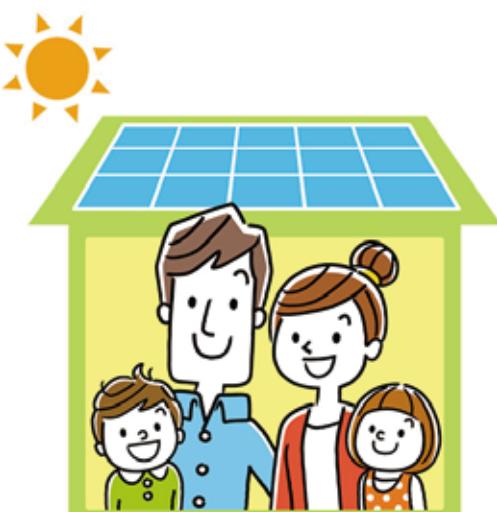
● 同一労働同一賃金（同じ仕事には同じお給料を支払うという原則）の実現や、1時間あたりのお給料（最低賃金）を全国平均で1,000円以上にアップさせていきます。また、保育士さんや介護士さんのお給料を増やします。

● おいしくて安全な日本の食べ物や和食は、海外でとても人気がありま  
す。魅力ある地域の特産品を海外の人にもっと知ってもらい、輸出を応援  
することで、農林水産業を元気にしていきます。

● 東京や大阪といった大都市から、自然が豊かな地方でくらしたいと思う  
人が増えています。転職をしなくても都市から地方に移り住めるよう、  
地方におけるテレワークを広めていきます。

● 高校や大学などに通うために奨学金を借りた人は、卒業後に返してい  
かなくてはなりませんが、地方に移住して働く人や、都市部で介護などの  
人材不足分野に就職する人などには、奨学金の返還を支援する取り組み  
を全国に広げていきます。

● 公明党の取り組みによって、日本の携帯電話料金は世界の国々と比べ  
ても格段に安くなりました。みなさんが自分に合った料金プランを選べる  
ようにサポートする取り組みを進めていきます。



# 世界の平和、日本の未来

世界中の国々と協力しながら、「だれひとり、取り残さない」平和な世界と人類の繁栄に貢献する国づくりを進めます。

● 世界でただ一つ、原子爆弾を落とされた国として、核兵器を持つ国と持たない国の両方に働きかけをしていくことが大切です。核実験を禁止したり、核兵器を減らそうとする国どうしの約束や取り決めを実現させるなど、環境を整える役割を日本が担い、「核兵器のない世界」の実現に向かって、さまざまな取り組みを積み重ねていきます。

● 2017年、国連で、核兵器を「非人道兵器」として、その開発、保有、使用などを禁止した「核兵器禁止条約」が採択されました。日本はこの条約に賛同していませんが、賛同する国が行う会議に参加し、原子爆弾のおそろしさや研究した結果をしっかりと伝えていくことなどを通して日本が貢献を果たし、将来は条約に参加できるような環境をつくっていきます。

● 北朝鮮が核・ミサイル開発などをあきらめ、朝鮮半島の非核化を実現できるよう、アメリカや韓国、中国やロシアなど世界の国々と協力し、平和解決に向けて努力していきます。

● 貧困、紛争、環境、感染症など、人類はこれまでになかったような  
数多くの課題に直面しています。だれひとり、取り残されずに幸せにくら  
し続けられるよう、世界中の国・地域や国際連合などと協力して取り組  
むべき目標=「SDGs（持続可能な開発目標）」を達成できるように取  
り組みます。

● SDGs の達成や戦争を起こさず平和な世界を実現するためにも、アメ  
リカをはじめ、近くの中国、韓国、ロシア、東南アジア、またインドやオ  
ーストラリア、ヨーロッパなどの国とよく話し合いを重ね、お互いのこと  
を理解し、信頼関係を深めていきます。

● プラスチックごみによる海のよがれが大きな問題になっており、私たち  
人間や動物への影響が心配されています。そのため、ムダなごみの量をで  
きるだけ少なくする、リデュース(Reduce)、一度使ったものをごみにし  
ないで何度も使う、リユース(Reuse)、使い終わったものをもう一度、  
資源に戻して製品をつくる、リサイクル(Recycle)の3R（スリーアー  
ル）に加え、環境にやさしいプラスチックの開発や利用を進めるリニュー  
ブル（Renewable）の取り組みを進めていきます。



● 平和にとって人と人との交流はとても大切です。とくに若いみなさんが世界中の国・地域の人たちと交流することは、将来にわたる、かけがえのない関係を築く土台となります。言語や文化などの違いを超えて、留学生の交流、オンラインを使った交流を進めていきます。また、海外で行われる日本語教育や日本の研究などに力を入れて取り組んでいきます。

●若い人たちの意見をもっと政治に取り入れやすくするため、選挙に立候補してみんなの代表に選ばれる権利（被選挙権）の年齢の引き下げをめざします。

●若い人たちの声を反映した政策や法律をつくるため、政府に若者政策を担当する大臣やチームを設置したり、全国各地で若い人たちの目線や意見を生かしたまちづくりが進むよう、地域の若い人たちが中心になって開く「若者議会」の開催を応援します。

